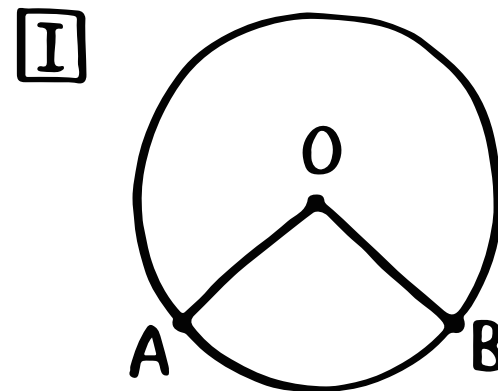


数学(円とおうぎ形の性質①・基本編)

Ⅰの図で、線分ABを①_____、円周のAからB
 までの部分を②_____といい、③_____と書く。
 また、 $\angle AOB$ を④_____に対する⑤_____といい、
 線分ABが直径なら、④_____は⑥_____になる。



Ⅱの図のように、円と直線が1点で交わる時、
 直線は円に⑦_____という。そして、このときの
 点Cを⑧_____、直線 l を⑨_____といい、
 OC は l に⑩_____になる!

